



中央市民サービスセンター

センターズ だより

令和6年
3月

No.08

[発行] 中央地域づくり協議会



〈秋田市竿燈まつり〉



新しい挑戦に向かって

中央地域づくり協議会 会長 佐々木 政昭

令和5年度から中央地域づくり協議会の新会長を務めさせていただくことになりました。

これまで副会長として地域の皆さんと一緒に楽しく活動してきましたが、このたび新たな役割を担うことになり、とても光栄に思っております。

私たちのチームは、地域のことを心から愛するボランティアの集まりです。秋田市からのサポートを受けながら、私たちは公務員ではない普通の一般市民として、地域のために出来ることを一緒に考え、行動しています。

地域の皆さんとの楽しいふれあいを通じて、これまでもいくつかの素敵なプロジェクトを進めて来ましたが、これからもその精神は変わりません。

もっと気軽に、もっと楽しく、私たちと一緒に地域を良くしていきませんか。

新しいアイデアや、ご提案、地域でのちょっとした話題など、何でも構いませんので皆さんのお声を聞かせてください。

一緒に考え、一緒に動いて、中央地域をもっと素敵な場所にしていきたいと思います。

これからも中央地域づくり協議会にご支援、ご協力をよろしくお願い致します。

皆さんと一緒に地域での新しい挑戦を楽しむことが出来ることを頑張ろうと思います。

ホームページ「まちプラあきた中央」

まちづくり事業を推進しております

まちプラあきた中央

検索



各地域のご紹介



◀ サイト閲覧はこちらのQRコードを携帯電話／スマートフォンのカメラから読み込みいただくか、<https://machipura.xsrv.jp/01/>を検索バーに打ち込んで検索してください。サイトは携帯、スマホ、パソコン等で閲覧できます。

旭南地区

歴史のある町

今日は取材でお聞きしたお話を基に旭南地区の歴史を深掘していきたいと思います！

移動経由地

駅ができる前は移動経由地として、馬や船が行き来していたそうです。

馬に関係すること。

元々は旭南という名前ではなく、馬口労町と呼ばれていたそう。

- ・明治時代初期まで馬で物を運んでいたこと。
- ・その馬の脚につける蹄鉄（ていてつ）を作っていた職人さんも多かった。
- ・現在も名残で元鍛冶場だったところが残っている。



旭北地区

街歩きの休憩に!大町三丁目街区公園

どんな公園?

赤レンガ郷土館の真裏にあるこちらの公園は、とっても広い!というわけではありませんが、建物が多いこの地域の緑のオアシスのような公園です。

遊具としては、サイズ違いの鉄棒と、雲梯、そして滑り台がありました。

私の個人的な感想ですが、雲梯がある公園って珍しくないですか??

この公園のおすすめポイント

おすすめポイントその1

大きな屋根付きの休憩できる場所があること。

この公園周りには赤レンガ郷土館はじめ、街歩きスポットがたくさんあるので、街歩きの休憩に立ち寄ってみてはいかがでしょうか。

おすすめポイントその2

みなさんに実際に見ていただきたいので何が描かれているかは内緒にしておきますが、秋田のある有名な祭りに関するプレートがはめ込まれています。

皆さんぜひ足を運んでみてください



公園の正面には街歩きコースが書かれた看板もあります

寺内小地区

ユニーク競技揃い！絆深まる寺内ファミリンピック

今回は令和5年9月10日に寺内小学校で行われた第31回寺内ファミリンピックをご紹介します。
ユニークな種目ばかりでどの競技からも目が離せませんでした！ぜひ最後までご覧ください。

町内の絆で繋がるファミリンピック

「ファミリンピック」この言葉が何とも特徴的だと思いませんか？

「ファミリー」+「オリンピック」2つの語が合わさって作られ、「家族で参加するオリンピック（運動会）」という意味です！とてもキャッチーで印象に残る名前ですね！

プログラムを一挙ご紹介

開会式

当日は絶好の運動会日和でした。開会式の際の「家族・町内・寺内小学区の絆を深めていきましょう。」この言葉が印象的でした。

人口減少や町内会の活動の減少が懸念される近年ですが、多くの町内が一同に集まり交流する機会はこちら寺内小の地で長く続いていることを知りました。寺内ファミリンピック当日は約350人の参加者が集まり、町内も住民も盛り上がっている！町内・住民同士の絆が強いからこそ続いているイベントなんだ！ということに気付かされました。

運営者も参加者も皆一緒になって行うラジオ体操は気持ち良いものです。ぜひ皆さんにも寺内ファミリンピックの規模の大きさを感じてほしいです。

ショウタイム！下駄飛ばし

スタートラインに並んで一斉に下駄を飛ばし、飛んだ下駄の距離で順位を競います。片足でバランスを取ることに苦戦する方が多い中、大きく足を振って下駄を高く遠く飛ばしている方も居りとても驚きました。



八橋地区

八橋コミセン杯第1回フロアカーリング交流大会

令和5年9月3日に八橋コミュニティセンターで行われた八橋コミセン杯第一回フロアカーリング交流大会の様子をご紹介します！初めて耳にする方はフロアカーリングに興味を持ったり、実際にやってみようと思うきっかけになれば嬉しいです。

フロアカーリングとは

まず始めに、フロアカーリングとは「冬季オリンピックに採用されているカーリングを基に、室内で遊べる競技として、1993年に北海道の新得町（しんとくちょう）で考案されたスポーツ」です。

使用する道具は3種類です。

ターゲットストーン／フロッカー（赤）／フロッカー（黄）

基本のルールはこのようになっています。

- ①先攻後攻を決める
- ②先攻チームはターゲットストーンを投球する。
- ③先攻チームはターゲットストーンに近づけるようにフロッカーを投球する。
- ④後攻チームが同じようにフロッカーを投球する。
- ⑤1球投げ終わった時点でターゲットストーンより最も遠く離れたチームが次に投球する。相手ストーンより近づくまで投球する。
- ⑥一方のストーンが無くなったら、もう一方のチームはストーンが無くなるまで投球する。
- ⑦次のセットは先攻後攻を入れ替え、先に9点を取った方の勝ちとする。

※送球したフロッカーがターゲットストーンをコート外に押し出してしまった場合、そのセットは終了する。その際にターゲットストーンを弾き出したチームは相手チームに2点または（相手チームの）未送球のフロッカー数のいずれか多い方を得点として与える。



八橋コミセン杯フロアカーリング大会の開催の理由と目的

3年前に八橋コミセンでフロアカーリングの道具を購入したことにより、八橋・寺内小地区は以前からフロアカーリングを一生懸命している人が多かったそうです。

フロアカーリングを通して地域が交流出来れば良いなと思い開催しようと思いました。

この大会の1番の目的は八橋コミセンで八橋・寺内小の諸団体の交流を図ることです。

今回は町内会、スポーツ協会、保健推進委員会、町内連合会などの団体が参加しました。また、八橋コミセンが主体となって地区内の人が皆明るく爽やかに生きていける地域づくりを目指すという目的もあります。

実は3年前に企画していたこの大会なのですが、コロナによって実施出来ず、3年温めて今年が初の開催です。

川尻地区

児童センターへ行こう！

今日は川尻地区にある川尻児童センターについてご紹介したいと思います！

川尻児童センター

皆さん、小さい時児童センターや児童館へ行った思い出はありませんか??

川尻地区は住宅街で、地区内に小学校や幼稚園などがある子育て世代の多い地区です。

川尻児童センターは中に体育館や子供たちが遊べる場所があり、私が前回訪れた際には、たくさんのお子どもたちが元気に遊んでいました。

それ以外にも談笑できるスペースがあったりと、市民の憩いの場になっていることがわかります。

真後ろには小学校があったりと、小さなお子さんがある親御さんにはぜひ注目していただきたい施設です。

川尻児童センター

(川尻地区コミュニティーセンター)

〒010-0945 秋田市川尻みよし町8-16

電話番号 018-862-9870

開園時間 午後1時30分～午後6時30分



保戸野地区

さらなる「いきいき保戸野」を願って

保戸野地区の活性化を図るため「菊谷小路いきいき町づくりの会」を平成29年4月に立ち上げ、コロナ禍の令和3年4月に同町づくりの会を母体とした「保戸野いきいき音頭づくり実行委員会」を発足しました。

令和5年3月に「保戸野いきいき音頭」のCDを作成し、翌4月には振り付けも完成しました。コミュニティーがやや薄れてきていると感じる昨今、この「保戸野いきいき音頭」が様々な場で人と人の繋がりを深め、老いも若きも一緒に多様的に活用してもらい、将来的には保戸野地域がひとつになる大規模イベントを開催出来るよう、これからも普及活動を続けていきたいと考えます。



保戸野いきいき音頭

作詞 菊地 宏

作曲・編曲 佐々木 久美子

唄 櫻田 善美

1. おすみやぐら 美しき
みんなを しっかりと 眺めてる
近くに 清き 旭川
流れは 広き 日本海
ほどの ほどの はげむ町 (ア、ソレソレ)
寄ってけれ 寄ってけれと はげむ町

わらび座・秋田シティブラスバンド特別公演 ～大雨乗り越え開催実現。音楽で秋田市を元気に。～

令和5年12月9日に秋田市役所3階のセンターで開催された、わらび座・秋田シティブラスバンド特別公演をご紹介します。



7月の記録的大雨乗り越え開催

センターの正式名称は中央市民サービスセンターであり、愛称がセンターです。現在の秋田市役所新庁舎に位置しています。

センターの意味は、センター（中央）に集うという意味で、一般公募で秋田市泉中学校の生徒の作品が採用されました。

センターまつりは、センターがオープンした平成28年（2016年）から始まり、第1回～第4回まで毎年10月～11月初旬に開催されました。そして、2020年と2021年は新型コロナ感染拡大の影響で中止されましたが、2022年11月に感染対策をして第5回センターまつりが開催されました。

2023年は第6回のセンターまつりを開催予定でした。しかし、7月の記録的大雨の影響でセンターまつりの会場が水害被害者の避難場所や被害者の調査会場や罹災証明の発行拠点となり、センターまつりの準備期間と会場確保が困難になったため、センターまつりは中止されました。

そこで、地域活動事業であるセンターまつりの代替えを特別公演の形として企画・開催することになりました。

劇団わらび座 ～東北巡る民謡・踊りのバスツアー～

今年74年目を迎える劇団わらび座は、センターまつりを含めて今回で4回目の出演となりました。ミュージカル「ワンス・アポン・ア・タイム・イン・アキタ」に出演している平野進一さん、三重野葵さん、瀧田和彦さん、遠田雅さん、富樫美羽さんの5名が出演しました。

東北・北海道を民謡や踊りで巡るバスツアーをテーマに、山形県の花笠音頭、秋田県の秋田音頭、北海道のソーラン節などが披露されました。

太鼓の音に合わせて出演者と観客が一緒になって体を動かし、心と体をほぐす場面もありました。最初は手を叩く動きから、上半身、下半身と最終的には全身を使う動きへと変わり、観客は徐々に上がる難易度に楽しく付いて行きました。



手を動かして心も体もポカポカに

最後はミュージカル「ワンス・アポン・ア・タイム・イン・アキタ」に登場する「あきたまほろば」という歌を披露し、会場は感動に包まれました。

鑑賞された方に感想を伺いました。

今日は親子三世代で見に来ました。もともとミュージカルが好きで、今日もわらび座を楽しみに来ました。とても元気な公演だと感じましたし、会場の子どもから大人まで皆で手を動かして、一体感が生まれて楽しかったです。劇団わらび座は地元で活動している劇団であることや気軽に見に行くことが出来る良さがあるので、今までに10回以上劇団わらび座の公演を見てきました。

演奏と歌唱で魅了した 秋田シティブラスバンド

秋田シティブラスバンドは今回は2回目の出演となりました。本公演では観客が気軽に口ずさめる曲をテーマに演奏されました。



朝の連続テレビ小説でおなじみの「愛の花」や、「さんぽ」を含む「となりのトトロメドレー」、「心の瞳」、「ラジオ体操」、「演歌メドレー」などが演奏されました。演奏に合わせて頭や手でリズムに乗って楽しめる方もいました。

司会が観客の笑いを誘ったり、指揮者の方が演奏に合わせて「心の瞳」の歌唱を披露しました。また、秋田シティブラスバンドの公演の定番とされる「ラジオ体操」の演奏では、会場の観客と一緒にラジオ体操を行う場面もありました。最後は観客のアンコールに応じて「秋田県民歌」を演奏し、会場の皆さんで合唱しました。鑑賞した方に感想を伺いました。

秋田シティブラスバンドの名前を以前から知っていました。秋田市の広報でこの特別公演を知り、初めて聴きに来ました。素晴らしい演奏に元気をもらい、感激して涙が出てくる瞬間もありました。

特別公演を通して、「センターまつり」がいかに秋田市民にとって欠かせないイベントであるか、そして発表者の皆さんと観客の皆さんが芸術発表を通じて繋がる素晴らしさを感じました。

観客と一緒に体操や歌で参加し、会場全体で作り上げた特別公演。今回は特別公演の形となりましたが、今年は「センターまつり」として開催される予定です。

今年の「センターまつり」にぜひ皆さんも足を運んで音楽を楽しんでみてはいかがでしょうか。

秋田市民謡連盟チャリティーショー開催

令和5年7月と9月の秋田市内での記録的大雨による被災者支援の為に秋田市民謡連盟チャリティーショーが行われました。秋田市の民謡連盟のご協力を頂き、17団体、46組の民謡や民謡踊りが披露されました。

本来ですと、センタースでの開催予定でしたが、センタースが水害被害者の避難所になったり、罹災証明書の発行拠点になり、会場の調整が出来ずに北部市民サービスセンター(キタスカ) に会場を移しての開催でした。



センタース 特別公演

秋田市民謡連盟 チャリティーショー

日時 10月29日(日)
開演12時30分(開場11時30分)

会場 北部市民サービスセンター
[キタスカ] 秋田市士崎港西五丁目3番1号

入場料 1,000円

秋田在住の民謡歌手の唄を
十分に堪能ください

出演団体

秋田県中央会	秋田県水会	北沢 樹子会
秋田県東部会	秋田県梅若会	十崎港伝承芸能伝承会
秋田県五里会	秋田県梅千会	良良 あや竹会
秋田県鶴岡会	秋田県津島会	河辺ひまわり会
秋田県小島会	秋田県津島会	川尻 八幡宮会
秋田県小島会	秋田県津島会	

主催：中央市民サービスセンター(センタース) ◆お問い合わせ先◆
 協賛：秋田県民謡連盟 ◆中央地域づくり協議会(センタース) TEL.018-886-5644
 共催：秋田市民謡連盟 ◆秋田県民謡連盟(キタスカ) TEL.018-846-1133
 協力：北部地域住民自治協議会 ◆秋田市民謡連盟 小野寺 TEL.018-863-4636
 後援：秋田市 ◆秋田市民謡連盟

令和5年度～6年度 中央地域づくり協議会理事・監事

令和5年10月1日

	氏名	区分	所属団体
会長	佐々木 政 昭	旭南	旭南地区町内会連合会会長
副会長	木 山 二 郎	中通中央	中通中央地区町内会連合会会長
副会長	松 木 仁	保戸野	保戸野地区体育協会会長
常任理事	岩 谷 政 良	八橋	八橋地区町内会連合会会長
常任理事	菊 地 峯 生	寺内小	寺内小学区社会福祉協議会会長
常任理事	加 藤 長二郎	中通・東通	東通地区連合町内会会長
		地区団体	秋田市生涯学習奨励員協議会会長(兼務)
常任理事	加 藤 繁	茨島・卸町	茨島・卸町地区町内会連合会会長
理事	宇佐見 昭 一	保戸野	保戸野地区町内会連合会理事(事務局長)
理事	鈴 木 夏 代	築山	築山地区民生児童委員協議会会長
理事	池 田 實	中通中央	中通地区民生児童委員協議会会長
理事	工 藤 裕 紀	築山	築山学区町内会長連絡協議会会長
理事	稲 岡 敬 弘	旭北	旭北地区町内会連合会会長
理事	辻 篤 志	旭北	旭北地区町内会連合会副会長
理事	佐 藤 和 雄	泉	泉学区町内会連合会副会長兼事務局長
理事	時 田 博	泉	泉地区社会福祉協議会会長
理事	米 澤 房 夫	八橋	八橋地区社会福祉協議会会長
理事	志 賀 陸 郎	茨島・卸町	茨島・卸町地区社会福祉協議会会長
理事	菊 子 力 三	川尻	川尻地区町内会連合会事務局長
理事	小 野 秀 徳	川尻	川尻地区社会福祉協議会理事
理事	三 浦 芳 博	旭南	旭南地区社会福祉協議会事務局長
理事	杉 田 豊 明	寺内小	寺内小学区町内会連合会会長
理事	中 嶋 裕 一	地区団体	中央地域子育て支援ネットワーク連絡会会長 旭北地区民生児童協議会会長
理事	織 田 強	利用者	中央市民サービスセンターサークル協議会会長
監事	小 玉 武	泉	泉学区町内会連合会監事
監事	袴 田 代志富	利用者	中央市民サービスセンターサークル協議会(秋田歴史研究会)
事務局長	藤 田 和 己		

今回は中央地域の包括支援センターの
会報をご紹介します。

八橋地域包括 出張包括 「おいしい檜山茶を飲みながらお話しませんか」 開催しました！！

場 所；豊島町町内会館（大町三丁目）令和5年6月21日開催
参加者；トーカンマンション大町にお住まいの方
男性1名 女性3名
豊島町町内会の方 男性2名 計6名

次の方々に講座やお食事の提供をいただきました。

フレアス在宅マッサージ

カフェ月（ゆえ）



ご参加・ご協力いただいた皆さん、ありがとうございました。
今後も竿燈シーズン以外に開催する予定です。

文責 八橋地域包括支援センター 佐藤元子

お問い合わせ

八橋地域包括支援センター社協
秋田市八橋南1-8-2(福祉老人センター1階)
【電話】018-883-1465 (平日 8:30~17:00)

担当地域

大町、旭北、山王、高陽、八橋（八橋イサノを除く）、
千秋（千秋久保田町を除く）

中通・築山かがやき便り

中通・築山かがやき協議会通信

～秋田市高齢者生活支援体制整備事業～

2023年度
Vol.02



ごあいさつ

まずは7月の大雨で被災された方々に心からお見舞い申し上げます。
秋田市内でもこの中通・檜山・南通は被害が特に大きく、私たち包括職員も地域にお邪魔したりニュースを目にするたびにその惨状に心が痛くなります。
当センターも床上浸水の被害を受け、只今改修工事中です。

大災害が起きたとき、国や市などの公的な支援はどうしても初動まで時間がかかります。
「遠くの親戚より近くの他人」と言われるように、いざという時に頼りになるのは、ご近所さんです。日頃から、ご近所さんと顔の見える関係になっておくことが大切です。これを機会に近所との「かかわり」や地域との「つながり」について考えてみませんか？

①近所づきあいもあいさつから！

あいさつは、近隣の人たちと声を掛け合って知り合うきっかけになるだけでなく、防犯においても役立ちます。マンションの方でも、エントランスなどで会ったら挨拶などを心がけてみましょう。

②町内会・自治会に入ろう

「地域の人と交流できる」「防災面で協力し合える」「地域の環境への不満などを意見しやすい」といったメリットがある反面、会費や役割が発生するという点がデメリットに感じる人もいるでしょう。しかし、防災や安全に暮らすという意味ではメリットは大きいと思います。



③町内の行事に参加しよう

町内のイベントやお祭りには積極的に参加しましょう。地域の方とのつながりを持つとても良い機会です。



地域のサロンを紹介します！

地域にはたくさんの集いの場があります。どんな所があるかな、というご相談はもちろん、新しくこんなことを始めてみたい！という方もぜひご相談ください。



発行：社会福祉法人 桜丘会
編集：生活支援コーディネーター
(地域支え合い推進員) 畠山 飛鳥
連絡先：中通地域包括支援センター幸ザ・サロン
TEL 018-827-3323



泉地域包括支援センター リンデンバウム便り

発行：泉地域包括支援センター

リンデンバウム

〒010-0817

秋田市泉菅野二丁目 17 番 11 号

TEL 896-5960 FAX 864-3006

E-mail : izumi-houkatsu@pure.ocn.ne.jp



泉社会福祉士から

かだるべカフェに

金行政書士をお招きしました！

令和5年12月14日（木）かだるべカフェを開催しました。これは、泉・保戸野地域のケアマネジャーが集合し、カフェ形式で勉強したり、情報交換したりするもので、年に3回程度定期的に行っています。今年度2回目は、泉にある行政書士金善則事務所の金善則先生をお招きし「任意後見制度」についての講話をしていただきました。当日は、「任意後見について～契約・見守り・死後事務など～」をテーマに約1時間金先生にご講話いただきました。その後参加したケアマネジャーが、グループごとに分かれて意見交換をしました。金先生も、各グループを回って質問に答えてくださいました。先生は柔らかい語り口で、資料も優しい色合いの物でした。また、実際にご自分が担当した事例の紹介も交えてお話ししてくださいました。

終了後、参加者から「講義を聴き、費用面等知りたいことを勉強できた」、「分かりやすい資料と丁寧な説明だった」との感想が聞かれました。

金先生に講義をお願いした経緯は、金先生がこの「泉地域包括支援センターリンデンバウム便り」を見て、包括に連絡をくださったことがきっかけです。地域の一員として、何か連携できることがあれば協力したいと仰ってください、この度、ご講話をお願いするに至りました。このような繋がりができたことが、とても嬉しいです。金先生は勿論、今後も地域のみなさんとの繋がりを大切にしながら、学びを深めていきたいと思います。



川元包括を会場に行われた催し物

担当地域

川元・川尻・旭南・茨島・卸町



★玉木内科クリニック院長の講話↓❤️



↑花京都さんによる手作り教室



↑秋田大学の教員による回想法



↑秋田リハビリテーション学院教員による体操教室



↑一人暮らしの集い(旭南地区)



↑ヤクルトさんによる健康講話



↑美大の先生による回想法

川元包括を会場に、高齢者の外出の機会を作るべく各方面のご協力のもと、この一年もいろいろな企画を実施できました。参加者からのアンケートをもとに次回の企画をしたり、とにかく認知症の予防、介護予防を目的に努めました。参加者からは楽しかった、また来たい、というお声をいただき次のやる気にもつながりました。

今までは回覧板での周知でしたが「回覧板?この3年回ってきたことない、みたこともない」等の声が地域からあがってきたので秋田市の広報紙での周知、募集に切り替えました。今後は各事業所さんとも連携し「介護教室、介護相談会」を開催出来たら・・・と昨年もこの場で言わせていただきましたが実現できなかったので来年度こそ開催したいのでその時はご協力お願いします。



←包括



←まちプラあきた中央



お問い合わせ

川元地域包括支援センター社協

〒010-0925 秋田市旭南1丁目8-12

【電話】018-853-5968 【FAX】018-853-5969

地域のまちづくり活動に **秋田市地域づくり交付金** を活用してみませんか？

地域づくり交付金は、町内会や地区振興会など地域に密着した活動を行う団体による、地域の課題解決や地域力の向上などの公益的な活動を支援する制度です。

中央地域づくり協議会から審査員を推薦、選出しており、**中央地域**の申請事業に対する評価や助言などを行っています。

令和5年度は以下の事業の審査および評価を行い、秋田市が交付決定しています。

事業名 「情報通信技術を活用した地域づくり」推進事業 団体名 防災まちづくり連合協議会

「災害発生時にスマホでできること」を目的別に解説した冊子である「災害に役立つスマホ術 入れておきたい防災アプリ」の作成と本資料の活用を図るための「防災スマホ教室」を開催。

住民の災害対応力と地域の防災力向上を図っている。

●団体からのお知らせ

- ・冊子をほしい方には、在庫が有る限り差し上げます。
- ・「防災スマホ教室」だけでなく、その年ごとに、防災関連などの、様々な企画を実施しています。今後も、開催予定や、参考資料などの情報提供を行っていきます。



事業名 広げよう「保戸野いきいき音頭」で地域活性化 事業 団体名 「保戸野いきいき音頭」づくり実行委員会

「保戸野地区にシンボルとなる歌や踊りがなかったため、ゼロから新しく作ろう」と考え、昨年度作成した「保戸野いきいき音頭」は、地区内にCDを配布して大変評判が良かったため、今年度は早々に振付を完成させ、盆踊りイベントを開催。さらに普及させるため、記録映像や練習用動画も作成した。

●団体からのお知らせ

- ・「保戸野いきいき音頭」を踊ってみたい、見学してみたい、団体の運営や活動に協力したい方募集中！
- ・音頭の練習用動画をYouTubeや貸出ししているDVDで見ることができます！！
- ・要望があれば、団体の者が出張して音頭の披露や説明といった対応も可能な限り行います。

事業名 地域でボッチャ100人プロジェクト 団体名 旭北地区体育協会（現 旭北地区スポーツ協会）

地域の方々からも、ボッチャを体験してみたいというニーズがあること。ルール及びコートの設定が、フロアカーリングとほぼ同じであること。また、フロアカーリングでは、立ったり、座ったりの動作があり、腰や膝などに負担がかかるが、ボッチャは立ったままの動作で競技ができ、腰や膝などに不安を抱える人も容易に参加できることが、より多くの方ができる競技が魅力であり、地域に普及させたいと考えている。

●団体からのお知らせ

- ・旭北地区の団体や旭北地区にお住まいの方、および旭北コミセンを利用される方に「ボッチャ」の道具をお貸しします（事前にご連絡くださるようお願いいたします 090-1061-1572 神田まで）。

事業名 地域と住民を繋ぐ「情報プラットフォーム事業」 団体名 中央地域まちづくりプラットフォーム

「まちプラあきた中央」のホームページの活用により「情報プラットフォーム」構築を目指す事業。ホームページを通じた情報発信および収集の活動により、地域の新たな情報共有の機会を創出している。

今回、リニューアルにより、「検索機能」のほか、「地区速報機能」や「電子回覧板機能」を追加。新機能を活用すると、回覧板で回しているような情報を、紙媒体よりも「早く」、「多くの人に」届けることができると考えている。その結果、地域に必要な、人と情報をつなぐ新たな試みとして、進めている。

●団体からのお知らせ

- ・ぜひ、ホームページの「会員登録」をしてみてください！「中央地域」に関連した情報を掲載したい方や、特に地域活動の担い手や、行事への参加者が少ないなど、お困りの方は、ホームページに、活動で必要としている人や団体などの募集情報を掲載したり、掲載されている募集情報を見ることができます。

秋田市の地域づくり交付金の担当からのご案内

「秋田市地域づくり交付金」はこれまで、地域で行う美化や自主防災のようなまちづくり活動のほかにも、以下の事業例などで公益的な事業がこれまで交付対象となっています。

- ・子ども見守り活動、防犯、交通安全 ・通学路や高齢者世帯の除雪活動
- ・夏まつり、雪まつり、文化祭等の地域交流イベント ・健康づくり教室
- ・案内板、歌などの作成 ・郷土史等作成 ・地域の情報を発信、共有する事業
- ・地域で受け継がれてきた行事を普及、継承する事業 など

初めて事業や申請手続を行う方にも参考となる、地域活動やまちづくり活動の取り組みの事例をご紹介したり、実際に参加や見学可能な事業についても、ご案内いたします。

秋田市 市民生活部 中央市民サービスセンター
地域支援担当（市役所庁舎2階） Tel 018-888-5643



令和6年度の申請受付期間は 4月15日(月)～5月13日(月)(予定)です

センタース施設ご利用案内

文化活動やスポーツ、住民自治活動など、幅広くご利用できます。
ご利用の希望する日の前月1日から予約をお受けいたします。

令和5年 センタース利用状況 (令和5年1月～令和5年12月)

利用団体数 7,434団体 利用者数 67,918人

■開館時間

9:00～21:00 (年末・年始を除く)

■ご利用申し込みは

中央地域づくり協議会 TEL 018-888-5644

電話や窓口での申し込み、または秋田市公共施設案内・予約システムからも申し込みできます。(予約システムからの申し込みは窓口での登録が必要です。)



施設利用窓口

◎ご利用料金

センタース使用料が下記のとおり改定されます。

○1時間あたりの使用料

- ・部屋の使用料は、営利目的でない場合は無料です。
- ・営利目的の場合は次のとおり有料になります。

令和6年4月1日改定

施設名	改定料金
多目的ホール	2,460円
和室	250円
洋室 (洋室4を除く)	250円
洋室4	1,470円
音楽室	480円
調理室	480円
陶芸工作室	480円

設備	(改定無し)
多目的ホール 照明器具	50円
調理室 調理器具	150円
陶芸工作室 陶芸窯	260円

中央地域づくり協議会とは

秋田市役所内にある中央市民サービスセンター（愛称 センタース）施設の運営・管理を市から指定管理者として委託されております。秋田市の中央地域における住民自治の担い手となり、住民相互の交流をはかりつつ、地域の諸課題の解決に取り組み、住みよい地域づくりを推進することを目的として、中央地域の（中通・東通）、（築山）、（保戸野）、（旭北）、（旭南）、（川尻）、（茨島・卸町）、（泉）、（八橋）、（寺内小学区）の10地域の町内会連合会や、社会福祉、ご利用者、スポーツおよび子育て関係団体等の代表者が理事として構成されております。平成27年8月28日に設立され、平成28年5月6日にセンタースが生涯学習機能等を備えた新組織として活動が開始されました。

中央地域づくり協議会

〒010-8560 秋田市山王一丁目1番1号（市役所3階）

TEL 888-5644 FAX 888-5645

ホームページ <http://centers.ec-net.jp/>

